

# 弘前大学学報



岩木山

第 58 号  
平成21年 1 月号

## 学内ニュース

- 平成21年 年頭挨拶 ----- 1
- 遠藤学長「河北文化賞」受賞 ----- 4
- 平成21年度大学入学センター試験実施 ----- 5

## 諸 会 議 -----

6

## 人 事

- 新任教授紹介 ----- 9
- 人事異動 ----- 9

## 主要日誌 -----

10

## 学内規程 -----

11

- 国立大学法人弘前大学顕彰碑等建立に関する申合せの制定
- 国立大学法人弘前大学放射線安全管理規程の一部改正
- 弘前大学スペース・コラボレーション・システム事業実施委員会規程を廃止する規程の制定

## 平成 21 年 年頭挨拶

平成 21 年 1 月 5 日  
弘前大学長 遠藤 正彦



新年明けましておめでとうございます。  
年末年始に積雪があり、雪国・津軽らしい雪のある新年となりました。皆様もそれぞれの思いで新年を迎えられたことと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します。

では、年頭に当たり、学長として平成 21 年に対する期待を述べたいと思います。

昨年末の世界的な経済不況の中にあっても、本学は平成 21 年度の概算要求と、平成 20 年度の第 1 次及び第 2 次補正予算の内示において、予

想以上の配分を受けることになりました。この中には、かねてより懸案であった、全国初めての緊急被ばく医療を担う「高度救命救急センター」と、地球温暖化と環境保全の教育・研究を担う「白神自然観察園」と、そして原子力以外の新エネルギー創出のための「北日本新エネルギー研究センター」が含まれておりました。このことは、特に第 2 期中期目標・中期計画を策定するに当たり、これからの弘前大学の「機能別分化」の方向に重要な示唆を与えるもので、本学にとって正に朗報というべきであります。

また、第 2 次補正予算による教育学部の全面改修は、教育学部の皆さんにはしばしご苦勞のあることですが、教育学部の改修によって本学の整備が山を越しますので、全学で喜び、そして応援したいものと思います。この概算要求及び補正予算獲得に当たり、御尽力下さった理事、部局長、及び関係部局の皆さんに、心から厚く御礼を申し上げます。

第 2 期中期目標・中期計画については、本学の中期目標・中期計画策定会議で検討中ではありますが、この大型の予算を獲得したことで、学長としてこれらに基づく第 2 期中期目標・中期計画の方向について問題を整理したいと思います。

### 【弘前大学を取り巻く環境】

弘前大学を取り巻く環境については、第 1 に、本学の立地している青森県は、産業基盤・財政基盤が脆弱であることに加えて、少子・高齢化、そして過疎化が進み、人口流出の激しい県であること、第 2 に、弘前大学の立地する弘前市は、将来に渡って新幹線は通らず、首都東京及び県都青森市とは距離を置いていること、第 3 に、今まで地域が弘前大学を必ずしも高く評価してはいなかったこと、等の悪い条件が重なっております。

### 【弘前大学の国立大学法人化当時の状況】

国立大学法人化の平成 16 年 4 月の弘前大学の状況は、第 1 に、弘前大学を取り巻く環境のところで述べたような地域間格差に加えて、大学の資源、即ち、学生定員、教員数、土地、建物、施設、設備、知的財産等の資源に乏しく、大規模大学との大学間格差を有していました。第 2 に、国立大学法人化当時、法人化に対する危機意識、そして国立大学法人化後の評価と競争に基づく資源配分が行われるということに対する状況認識が、地方にあるので全般的に不足していたように思います。

### 【弘前大学の法人化後の経緯】

しかし、こうしたハンディの中で全学教職員による合意形成が成され、弘前大学の第1期中期目標・中期計画が策定され、そしてこの完遂に向けて努力してきたところであります。その結果、昨年の国立大学法人評価委員会の評価結果には、まだ未完遂の事業が含まれているとの指摘がなされており、しかし、本学では、国立大学法人化したことの効果が、確実に表れてきているものと学長は思います。

国立大学法人の組織運営では、教員・事務系職員全構成員の参加システムと、学長説明会、学長直言箱、各種懇談会等の意見集約システム等によって運営されてきました。財政的には効率化係数による年毎の運営費交付金の減額がありましたが、減額分以上の教育研究特別経費の年毎の増加によって、本学は恵まれた経緯をたどっており、そして、ここ数年末の教職員の努力による大型予算の獲得が、状況を変えてきたと思います。

### 【国立大学法人弘前大学の現状】

国立大学法人化後の5年間を振り返ると、少子化による入学志願者の減少と、運営費交付金の年毎の減額という不安定材料がありました。

しかし全体としては、大学院保健学研究科の設置と合わせて、理工学研究科、医学研究科及び保健学研究科の部局化による教育研究の体制の整備、機器分析センターの設置、部局毎の特定プロジェクト教育研究センターの設置、出版会の設立等により、研究体制は著しく強化されました。

学生教育に関しては、基礎ゼミナール及びクラス担任制という本学独自の学生指導体制や学生就職支援センターによる学生就職支援システム等を基に、内外に学生の質を保証すると明言してきました。結果として、学生の高就職率が得られ、学生による卒業論文、修士・博士論文に対する学会賞受賞者の増加等、見るべきものがありました。こうして、弘前大学は国立大学法人化により良い方向に向かっていると評価すべきです。

### 【現在の弘前大学の特徴】

現在の弘前大学の特徴を述べるならば、第1に、明治9年創立の青森県師範学校を原点とする133年の歴史と伝統があり、そして、昭和24年新制大学として創立以来の60年の実績があり、第2に、文系・理系のすべての学問の基礎をカバーする人文学部、教育学部、保健学科を含む医学部、理工学部及び農学生命科学部の5学部から成る中規模総合大学であり、第3に、全学部が大学院博士課程に直結する完成度の高い大学であり、第4に、歴史・文化の城下町で、そして学園都市である弘前市と、共に歩む地元密着型の大学であると、標榜することができます。しかも、この大学の姿に、平成21年度の概算要求事項や平成20年の第1次・第2次補正予算事項を加えると、本学は小さいながらも旧帝大の縮小版とも言うべき設備・施設も持った完成度の高い、自立可能な、そして地域に根ざした大学へと変貌しつつあります。

こうして見ると、第2期中期目標・中期計画に求められている「機能別分化」としての本学の姿をはっきりと見て取ることができると思います。

これから本学の柱は、大学の教育目的としての一般的な人材養成に留まるのではなく、特に地元の求める、そして地域の発展に寄与する人材養成を担うことができます。理工学研究科の文部科学省科学技術振興調整費として裏付けのある「医用システム開発マイスター養成塾」、農学生命科学部の「アグリカレッジ」、教育学部の「教員養成学研究開発センター」と「ラボバス」、「北日本新エネルギーセンター」によるエネルギー技術専門家、そして医学研究科と保健学研究科の緊急被ばく医療支援人材育成事業等、地元青森県が特に求める専門技術者としての人材を本学が養成するという特徴をもつことができます。

また、「白神自然観察園」を中心に、理工学研究科や農学生命科学部における地球温暖化、環境保全等の教育・研究、そして「高度救命救急センター」を中心に医学研究科と保健学研究科における、第3次救急医療と緊急被ばく医療を担う先進医療及び地域中核医療等の拠点をめざすことができます。

また、最近明らかになってきた本学附属図書館の埋蔵文化財とでもいうべき多数の未公開の歴史的文化遺産、そして人文学部附属亀ヶ岡文化研究センターの資料は、地域文化の保存・継承や、地域の考古学の集約的研究・発展の拠点となります。

また、現在、小・中・高生の理科離れが危惧されている時、理工学研究科のサイエンスへの招待や楽しい科学等のサイエンススクール、教育学部の「ラボバス」、「科学者発見プロジェクト」、文京町キャンパスに繰り広げられる「サイエンスパーク」、そして「白神自然観察園」等は、明らかに本県の小・中・高生の理科への関心を高める一大プロジェクトになるものと思います。

そして、理工学研究科、農学生命科学部を初め、全学部において地域共同研究センター及び生涯学習教育研究センターを中心に、地域の産業起し、地域の活性化等の具体的方策が固まってきました。

このようにして、第1期中期目標・中期計画の柱の一つ、教育・研究と並ぶ社会貢献は、地域の求める人材養成、地域医療、地域文化の継承、産業活性化、そして地域の活性化というはつきりとした具体的な方策を表すこととなります。その結果は、地方大学として「機能別分化」を明確にし、地域に密着し、地域に貢献する第1級の地方大学としての新しい道が開かれてきたものと確信します。

事実、本学には、本学が初めてとか、本学にしかない、あるいは他大学には数少ないという事例が沢山できました。人文学部の縄文晩期の亀ヶ岡土器類は我国随一であり、緊急被ばく医療は我国初であり、高度救命救急センターは全国7番目であり、新エネルギーセンターも我国初であり、出版会は旧帝大以外の国立大の希有なる成功例であり、その他多数の事例があります。

本学の管理・運営、教育・研究組織は、ほぼその体制が整ってきましたが、尚、不断の改革は継続する必要があります。しかも、迫り来る少子化による入学志願者倍率の減少、大学入試における偏差値の低迷、COEやGPの不採択、文部科学省研究費補助金獲得の低迷等の問題があり、これに如何にして対処し、教育と研究の質の向上を図るかは喫緊の大きな課題であります。

こうしてみると、概算要求及び補正予算の内示は、平成21年に希望をもたらし、第2期中期目標・中期計画における「機能別分化」において、明確な進むべき方向を示したものと思います。

昨年11月社団法人国立大学協会の総会に、交通の便の悪い地方にあり、そして大規模大学でもない弘前大学がなぜ選ばれたか、ということに心を寄せていただきたいと思います。多くの地方大学が、今、典型的な地方大学としての弘前大学の歩みに大きな関心と期待を寄せていることを感じます。弘前大学をとりまく環境は、前述のように、他大学に比べ極めて悪いのですが、しかし、本学全構成員の力により、ここ数年で明らかに完成度を高め、自立する態勢が整ってきたと思います。我々は、国立大学法人国立大学の中にあつて自信を持たねばならないと思います。

加えて本年は、弘前大学創立60周年に当たり、様々の記念行事が予定されております。この60周年を機に、皆さんと共に新しい弘前大学の発展のため、そして明るい希望の持てる弘前大学にするために、共に努力してまいりたいと思います。平成21年はこうしてみると、弘前大学の未来の見える、そして明るい希望の年と言うことができると思います。

皆さんのご協力をお願いして、年頭のご挨拶とします。

---

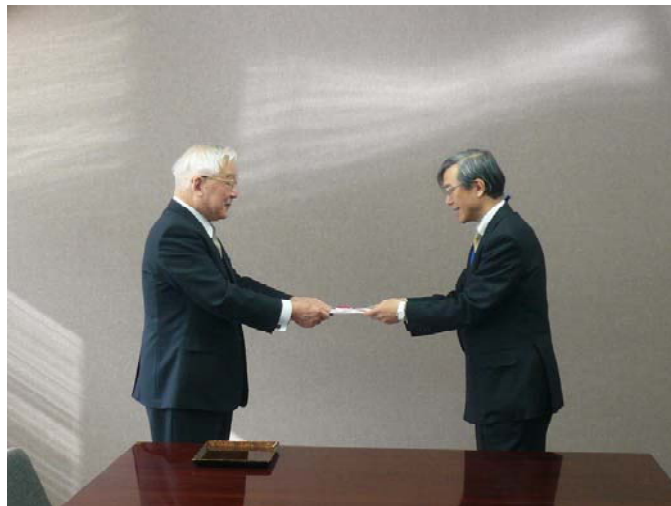
## 遠藤学長 河北文化賞 受賞

遠藤学長が、「バイオ技術に新しい道をひらく糖鎖工学の研究」に対して、財団法人 河北文化事業団より、地道な取り組みで輝かしい業績を残し東北の発展を支えたとして、平成20年度の河北文化賞を受賞されました。

本学からは、平成7年度の吉田前学長（大腸がん集団検診方法の確立に寄与）以来の受賞となりました。

1月17日（土）に宮城県仙台市で贈呈式が行われ、河北新報社と東北放送の役員をはじめ、宮城県の名士の方々が300人以上出席して盛大な式典が執り行われました。

遠藤学長は河北文化賞副賞100万円を医学研究科における研究推進のためにと、全額寄附し、1月26日に医学研究科長室において贈呈式が行われました。



## 平成21年度大学入試センター試験実施

平成21年度大学入学者選抜大学入試センター試験が、1月17日(土)、18日(日)の2日間にわたり全国一斉に実施されました。県内では弘前大学、青森県立保健大学、青森公立大学、青森大学、青森大学田名部高等学校会場、青森中央学院大学、八戸大学、八戸工業大学及び北里大学獣医学部の9試験場で実施されました。

この後、本学の個別学力検査は、前期日程試験が2月25日(水)、26日(木)(合格発表は3月6日(金))、後期日程試験が3月12日(木)(合格発表は3月20日(金))に実施されます。

なお、本学が担当した大学入試センター試験の志願者及び受験者は、次のとおりです。

### ◇平成21年度大学入試センター試験 教科別受験状況

弘前大学試験場

担当学部：理工学研究科、農学生命科学部

志願者数：1,338人

1月17日(土)	科目	公民	地理歴史	国語	外国語(筆記)	英語リスニング
	受験しなかった者	372	404	73	58	60
	受験した者	966	934	1,265	1,280	1,278
	受験率	72.2%	69.8%	94.5%	95.7%	95.5%

1月18日(日)	科目	理科①	数学①	数学②	理科②	理科③
	受験しなかった者	612	125	241	501	819
	受験した者	726	1,213	1,097	837	519
	受験率	54.3%	90.7%	82.0%	62.6%	38.8%

---

## ■ 諸 会 議

### ▼役員会

1月 6日（月）

#### 報告事項

- 1 中期計画の変更について
- 2 弘前大学学生の懲戒処分に関する規程の一部改正について
- 3 国立大学法人弘前大学顕彰碑等建立に関する申合せ

#### 報告事項

- 1 国立大学協会臨時学長等懇談会について
- 2 外部評価会議の開催について
- 3 平成21年度予算内示について
- 4 要望事項等調査票の振り分けについて

#### その他

- 1 創立60周年記念事業の募金について

1月19日（月）

#### 審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学予算配分方針（改正案）について
- 2 北日本エネルギーセンター（仮称）の組織体制について

#### 報告事項

- 1 教育研究評価に関する評価報告書（案）について
- 2 平成20年度に追加配分について
- 3 大学入試センター試験について

1月20日（火）

#### 審議事項

- 1 中期計画の変更について
- 2 国立大学法人弘前大学予算配分方針（案）について
- 3 目的積立金の取崩について

1月26日（月）

#### 審議事項

- 1 教員業績評価に係る派遣教員の選考について
- 2 弘前大学表彰について

#### 報告事項

- 1 私費留学生（正規生）緊急特別教育助成金の支給状況について
- 2 弘前大学学術研究奨励基金による **Hirosaki University International Symposium**
- 3 弘前大学スペース・コラボレーション・システム事業実施委員会規程の廃止について



---

## ▼教育研究評議会

1月13日（火）

### 審議事項

- 1 調査委員会の設置について
- 2 中期計画の変更について
- 3 保健管理センター教員の選考について

### 報告事項

- 1 教員の人事について
  - (1) 教員の採用・昇任
- 2 平成21年度総合文化祭実施に伴う平成21年度学年暦について
- 3 弘前大学特別研究助成制度（博士後期課程）について
- 4 弘前大学私費外国人留学生特別研究制度（博士後期課程）について
- 5 弘前大学私費留学生（正規生）緊急特別教育助成金について
- 6 弘前大学学術リポジトリの各部局における説明と成果報告について
- 7 弘前大学機器分析センターの現状について
- 8 医学研究科附属脳神経欠陥病態研究施設の存続について
- 9 委員会報告
  - (1) 21世紀教育センター運営委員会
  - (2) 学士課程教育協議会
  - (3) 教育・学生委員会
  - (4) 入学試験委員会
  - (5) 研究・産学連携委員会
- 6 その他
  - (1) 次回以降の開催予定について

## ▼教育・学生委員会

1月28日（水）

### 議 題

- 1 学生担任制度の実質化について
- 2 教育に関する優秀教員及び成績優秀学生に対する表彰制度の導入について
- 3 弘前大学学生の懲戒処分に関する規程の一部を改正する規則について
- 4 学生表彰について
- 5 身体に障害がある学生への対応について
- 6 弘前大学学則の一部改正について
- 7 その他

### 報告事項

- 1 第一体育館の冬期間早朝使用について
- 2 その他

---

## ▼21世紀教育センター運営委員会

1月22日（木）

### 報告事項

- 1 センター長報告
- 2 専門委員会報告
  - (1) 教務専門委員会
  - (2) FD・広報専門委員会
  - (3) 点検・評価専門委員会
- 3 科目主任会報告
- 4 その他の報告

### 審議事項

- 1 放送大学との単位互換に係る読替について
- 2 平成21年度学外非常勤講師資格審査について
- 3 平成21年度非常勤講師による授業計画について
- 4 平成21年度ティーチング・アシスタントによる授業計画について
- 5 平成21年度21世紀教育の運営等に係る経費について
- 6 平成21年度年度計画について
- 7 その他

## 新任教授紹介



医学研究科

いちのへ のりたか  
一戸 紀孝 (専攻：神経解剖学)

一戸独立行政法人理化学研究所脳科学総合研究センター脳皮質機能構造研究チーム副チームリーダーが、平成21年1月1日付けで本学医学研究科教授に発令されました。

## 人事異動

### [採用]

発令年月日		氏名	異動内容
平成21年1月1日		栗林航	一般職員(教育)
平成21年1月1日		一戸紀孝	教授(医) [平成30年12月31日まで]
平成21年1月1日		及川広一	助教(医) [平成25年12月31日まで]

### [昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年1月1日	留学生支援グループ係長(学・留)	千葉政四郎	課長補佐(職員グループ)(総・人)

### [離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年1月22日	看護師(病)	小山麻由	辞職
平成21年1月31日	看護師(病)	深沢弘美	辞職

### [配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年1月1日	一般職員(教育)	岩谷慶太	一般職員(学・留)

### [復職]

発令年月日		氏名	異動内容
平成21年1月1日	一般職員(教育)	葛西裕美	育児休業より
平成21年1月1日	教諭(附中)	戸澤裕香子	育児休業より
平成21年1月1日	教諭(附中)	原ことじ	育児休業より
平成21年1月12日	教諭(附中)	高橋みどり	介護休業より

### [介護休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年1月18日	看護師(病)	三上真紀	平成21年3月31日まで

---

## ■ 主要日誌

- 1月5日 仕事始め  
新年互礼会
- 6日 役員会
- 8日 評価者講習会
- 9日 評価者講習会
- 13日 運営会議  
中期目標・中期計画策定会議  
教育研究評議会  
学士課程教育協議会
- 14日 教育有識者懇談会
- 15日 定例記者会見
- 16日 教員免許状更新講習合同会議
- 17日 センター試験
- 18日 センター試験
- 19日 役員会
- 20日 経営協議会  
学長と学生の懇話会
- 26日 役員会
- 28日 教育・学生委員会

---

## ■ 学内規則

(平成21年1月6日制定)

- 国立大学法人弘前大学顕彰碑等建立に関する申合せ

(平成21年1月21日改正)

- 国立大学法人弘前大学放射線安全管理規程  
保健管理センターR I等取扱施設廃止のため、この規程の一部を改正した。

(平成21年1月26日制定)

- 弘前大学スペース・コラボレーション・システム事業実施委員会規程を廃止する規程

弘前大学学報第58号

弘前大学総務部総務課  
036-8560 弘前市文京町1  
電話 (0172)36-2111